



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,801	22.2	1,452	13.4	1,471	12.7	862	△10.7
28年3月期第2四半期	12,110	11.2	1,280	79.8	1,305	81.0	966	134.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 843百万円 (△12.8%) 28年3月期第2四半期 967百万円 (126.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	27.72	—
28年3月期第2四半期	31.05	—

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	17,562	10,993	62.6	353.25
28年3月期	17,936	10,771	60.1	346.14

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,993百万円 28年3月期 10,771百万円

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成28年3月期については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,370	17.9	3,680	12.3	3,700	11.3	2,410	4.5
								77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	31,121,520 株	28年3月期	31,121,520 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,605 株	28年3月期	1,605 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	31,119,915 株	28年3月期2Q	31,120,035 株

(注)当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内市場の伸び悩みから、業態を越えた企業間競争は激化傾向にあります。また、消費マインドは、依然として節約志向が根強いものの、「ハレ・コト消費」傾向の顕著化など、消費の二極化がより鮮明になり、インバウンド動向においては、訪日外客数が大幅に伸びている一方で、高額品を中心としたインバウンド需要の減速が見られはじめるなど、消費環境は刻々変化している状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、前年度に掲げた経営スローガン『ワールド サブライジング リゾート宣言 (WSR) ～世界へ、ありえない驚きの、超感動を提供する～』の更なる推進を図るため、当年度は『WSR 2 (ダブルエスアール・ダブルエスアール)』を経営スローガンに掲げ、インバウンド対策の強化、海外展開、首都圏でのWSR展開の推進、プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、重点施策遂行の成果及び株式取得により平成28年2月から連結の範囲に含めました株式会社フランセが加わったことなどにより、14,801百万円（前年同期比22.2%増）となりました。利益面では、株式会社フランセの事業の特性による季節的な変動要因によるマイナス影響があった一方、増収効果に加え売上総利益率が前年同期に対し0.8ポイント増加したことなどにより、営業利益は1,452百万円（前年同期比13.4%増）、経常利益は1,471百万円（前年同期比12.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が一時的に低かったため、当第2四半期連結累計期間の税金負担が前年同期に比べて増加した結果、862百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

前連結会計年度中において行われた組織再編に伴い、従来、独立セグメントとしておりました「寿製菓」、「但馬寿」を統合し、「寿製菓・但馬寿」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、前年同四半期の算定方法につきましても当四半期の区分に組み替え後の数値に基づいて算定しております。

## ① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、道内店舗における販促強化、国内主要国際空港での提案営業の強化、台湾・韓国などアジア圏における事業推進などに注力いたしました。商品面では、主力商品「ドゥーブル・フロマージュ」、焼き菓子商品の「小樽色内通りフロマージュ」及び「ビスキュイ・オ・フロマージュ」の販売強化に注力いたしました。その結果、売上高は、4,263百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は423百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

## ② 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、グループ各社及び代理店向けに新商品及び主力商品対策などの提案営業を強化するとともに、地元山陰では発売50周年を迎える名菓「因幡の白うさぎ」及びモンド・セレクション6年連続最高金賞受賞の「白ウサギフィナンシェ」の販売強化、「遊月亭の黒豆茶」の通信販売などに注力いたしました。その結果、売上高は4,948百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は634百万円（前年同期比54.9%増）となりました。

## ③ 販売子会社

販売子会社は、東海地区では「小倉トーストラングドシャ」、福岡地区では「まっかな苺のラングドシャ」の販売強化に努め、関西地区では関西国際空港を中心に「京都ヴェネト」及び「コンディトライ神戸」ブランドでのインバウンド対策を推進いたしました。その結果、売上高は2,504百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は180百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

## ④ シュクレイ

シュクレイは、「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランドの知名度向上を図るため、期間限定出店展開及び季節イベント対策の推進、インバウンド対策を含む卸売の強化などに注力いたしました。新ブランドでは、東京・JR新宿駅南口NEWoMan（ニューマン）に「Butter Butler（バターバトラー）」を、東京・南青山に「GENDY（ジェンディー）」を平成28年4月にそれぞれ新規出店いたしました。その結果、売上高は2,430百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益は307百万円（前年同期比65.8%増）となりました。

## ⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、平成28年4月に発生した熊本地震の影響により、観光客が減少した長崎・佐世保地区の落ち込みを挽回すべく、発売65周年を迎えた「九十九島せんべい」の販売強化に努めるとともに、フレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」では、期間限定出店の展開を推進いたしました。その結果、売上高は1,611百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失は19百万円（前年同期は営業利益49百万円）となりました。

⑥ フランセ

フランセは、製造ラインの統合・新設、ブランド再構築など経営の抜本的な見直しを推進いたしました。商品面では、期間限定の新商品「レモンをたのしむミルフィユ」及び「木苺をたのしむミルフィユ」を投入し、夏季シーズンにおける販売強化に努めました。その結果、売上高は1,490百万円、営業損失は229百万円となりました。

なお、株式会社フランセは、事業の特性による季節的な変動があり、上半期の業績は下半期に比べ著しく低調な傾向にあります。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれており、売上高は112百万円（前年同期比10.8%増）、営業損失は38百万円（前年同期は営業損失28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、17,562百万円となり、前連結会計年度末と比べ374百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（384百万円）、受取手形及び売掛金の減少（253百万円）、固定資産における機械装置及び運搬具（純額）の増加（147百万円）、商品及び製品の増加（138百万円）などの要因によるものです。

負債は、6,569百万円となり、前連結会計年度末と比べ595百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少（196百万円）、短期借入金の減少（200百万円）、長期借入金の減少（171百万円）などの要因によるものです。

純資産は、10,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（862百万円）、配当金の支払いによる減少（622百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増加の62.6%となり、1株当たり純資産は353円25銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、3,069百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,176百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,429百万円、減価償却費397百万円の計上及び、売上債権の減少額251百万円などの増加要因があった一方、法人税等の支払額808百万円、たな卸資産の増加額115百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、324百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出583百万円の減少要因があった一方、定期預金の払戻による収入200百万円、投資有価証券の売却による収入138百万円などの増加要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,032百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

主な要因は配当金の支払額622百万円、短期及び長期借入金の返済額400百万円などの要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、前回公表数字（平成28年5月12日付「平成28年3月期決算短信」）から変更いたしておりません。当第2四半期累計期間における業績は、堅調に推移しているものの、下期の事業環境は依然として先行き不透明なため、期初予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,453,975	3,069,084
受取手形及び売掛金	3,222,671	2,969,514
商品及び製品	784,260	923,240
仕掛品	102,378	47,634
原材料及び貯蔵品	399,706	430,481
その他	567,348	617,569
貸倒引当金	△13,494	△4,950
流動資産合計	8,516,844	8,052,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,206,030	3,235,057
機械装置及び運搬具(純額)	1,291,109	1,439,044
工具、器具及び備品(純額)	316,277	354,000
土地	3,084,438	3,084,438
リース資産(純額)	12,552	10,374
建設仮勘定	5,967	29,755
有形固定資産合計	7,916,373	8,152,668
無形固定資産	103,840	94,177
投資その他の資産		
その他	1,426,846	1,289,567
貸倒引当金	△27,178	△26,354
投資その他の資産合計	1,399,668	1,263,213
固定資産合計	9,419,881	9,510,058
資産合計	17,936,725	17,562,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,051,729	1,119,852
短期借入金	720,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	385,202	356,399
未払法人税等	818,360	621,599
賞与引当金	520,876	583,616
ポイント引当金	17,468	19,917
その他	1,305,195	1,175,418
流動負債合計	4,818,830	4,396,801
固定負債		
長期借入金	1,072,912	901,709
退職給付に係る負債	1,024,802	1,073,314
その他	248,479	197,791
固定負債合計	2,346,193	2,172,814
負債合計	7,165,023	6,569,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	8,211,217	8,451,580
自己株式	△785	△785
株主資本合計	10,751,393	10,991,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,008	15,966
為替換算調整勘定	△4,699	△14,707
その他の包括利益累計額合計	20,309	1,259
純資産合計	10,771,702	10,993,015
負債純資産合計	17,936,725	17,562,630



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,110,660	14,801,345
売上原価	5,574,250	6,691,719
売上総利益	6,536,410	8,109,626
販売費及び一般管理費	5,255,946	6,656,986
営業利益	1,280,464	1,452,640
営業外収益		
受取利息	266	388
受取配当金	2,311	2,884
受取地代家賃	9,147	9,592
受取補償金	7,581	—
持分法による投資利益	—	5,946
その他	17,784	13,019
営業外収益合計	37,089	31,829
営業外費用		
支払利息	7,108	6,583
その他	4,507	6,629
営業外費用合計	11,615	13,212
経常利益	1,305,938	1,471,257
特別利益		
投資有価証券売却益	1,809	—
固定資産売却益	525	513
特別利益合計	2,334	513
特別損失		
固定資産売却損	2,144	409
固定資産除却損	10,196	12,392
投資有価証券売却損	—	29,342
特別損失合計	12,340	42,143
税金等調整前四半期純利益	1,295,932	1,429,627
法人税等	329,725	566,866
四半期純利益	966,207	862,761
親会社株主に帰属する四半期純利益	966,207	862,761

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	966,207	862,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91	△9,042
為替換算調整勘定	1,432	△10,474
持分法適用会社に対する持分相当額	—	466
その他の包括利益合計	1,523	△19,050
四半期包括利益	967,730	843,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967,730	843,711

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,295,932	1,429,627
減価償却費	315,047	397,496
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,809	29,342
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,716	△9,368
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,175	62,740
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,063	48,512
受取利息及び受取配当金	△2,577	△3,272
支払利息	7,108	6,583
持分法による投資損益(△は益)	—	△5,946
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	2,449
固定資産売却損益(△は益)	1,619	△104
固定資産除却損	10,196	12,392
受取補償金	△7,581	—
売上債権の増減額(△は増加)	△241,424	251,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,968	△115,434
仕入債務の増減額(△は減少)	165,013	69,956
その他	△278,241	△186,542
小計	1,235,269	1,989,920
利息及び配当金の受取額	2,548	3,272
利息の支払額	△6,760	△7,484
補償金の受取額	7,581	—
法人税等の支払額	△243,988	△808,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	994,650	1,176,991
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	200,000
投資有価証券の取得による支出	△3	△1,325
投資有価証券の売却による収入	2,745	138,947
有形固定資産の取得による支出	△260,267	△583,315
有形固定資産の売却による収入	2,047	1,495
無形固定資産の取得による支出	△43,960	△10,669
敷金及び保証金の差入による支出	△36,444	△21,740
敷金及び保証金の回収による収入	20,087	30,047
その他	△25,489	△78,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△341,284	△324,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△153,654	△200,006
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,298	△2,993
自己株式の取得による支出	△129	—
配当金の支払額	△414,935	△622,398
その他	△7,500	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△879,516	△1,032,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,603	△4,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△229,753	△184,891
現金及び現金同等物の期首残高	2,555,418	3,253,975
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,671	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,413,336	3,069,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシー シー	寿製菓・但 馬寿	販売子会社	シュクレイ	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,407,788	2,844,075	2,466,302	1,780,891	1,511,030	12,010,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	491,690	1,746,613	2,235	—	183,462	2,424,000
計	3,899,478	4,590,688	2,468,537	1,780,891	1,694,492	14,434,086
セグメント利益 (△は損失)	352,166	409,963	174,656	185,599	49,108	1,171,492

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	100,574	12,110,660	—	12,110,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	989	2,424,989	△2,424,989	—
計	101,563	14,535,649	△2,424,989	12,110,660
セグメント利益 (△は損失)	△28,294	1,143,198	137,266	1,280,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額137,266千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額443,107千円、セグメント間取引消去額8,152千円、たな卸資産の調整額△15,015千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△298,978千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓・但 馬寿	販売子会社	シュクレイ	九十九島 グループ	フランセ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,809,915	3,010,272	2,496,392	2,430,539	1,451,744	1,490,424	14,689,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	453,707	1,938,002	8,547	—	160,198	—	2,560,454
計	4,263,622	4,948,274	2,504,939	2,430,539	1,611,942	1,490,424	17,249,740
セグメント利益 (△は損失)	423,179	634,971	180,462	307,797	△19,582	△229,997	1,296,830

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	112,059	14,801,345	—	14,801,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	455	2,560,909	△2,560,909	—
計	112,514	17,362,254	△2,560,909	14,801,345
セグメント利益 (△は損失)	△38,440	1,258,390	194,250	1,452,640

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額194,250千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額503,814千円、セグメント間取引消去額8,896千円、たな卸資産の調整額△16,207千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,253千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度中において行われた組織再編に伴い、従来、独立セグメントとしておりました「寿製菓」、「但馬寿」を統合し、「寿製菓・但馬寿」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。